

2023年6月26日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

全国小企業月次動向調査(2023年5月実績、6月見通し)

[概況] 小企業の売上 DI (5月実績) は、上昇

1 売上

2023年5月の売上 DI は、4月(3.8)から5.0ポイント上昇し、8.8となった。6月は8.4と、5月に比べ0.4ポイント低下する見通しとなっている。

業種別にみると、製造業(▲8.4→▲5.8)、非製造業(4.9→10.6)ともに上昇した。6月は製造業では▲9.9とマイナス幅が拡大する一方、非製造業では10.8と上昇する見通しとなっている。

2 採算

2023年5月の採算 DI は、4月(1.5)から5.2ポイント上昇し、6.7となった。6月は6.5と、低下する見通しとなっている。

3 雇用

2023年6月調査の従業員過不足 DI は、16.0となった。

<調査の要領> 調査時点 2023年6月1日~8日
調査対象 当公庫取引先 1,500企業(調査対象の企業規模は裏面のとおり)
有効回答企業数 1,278企業
回答率 85.2%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:篠崎、葛貫)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

調査対象の企業規模

製 造 業（従業者 20 人未満）

卸 売 業（ 同 10 人未満）

小 売 業（ 同 10 人未満）

飲 食 店（ 同 10 人未満）

サービス業（ 同 20 人未満）

建 設 業（ 同 20 人未満）

運 輸 業（ 同 20 人未満）

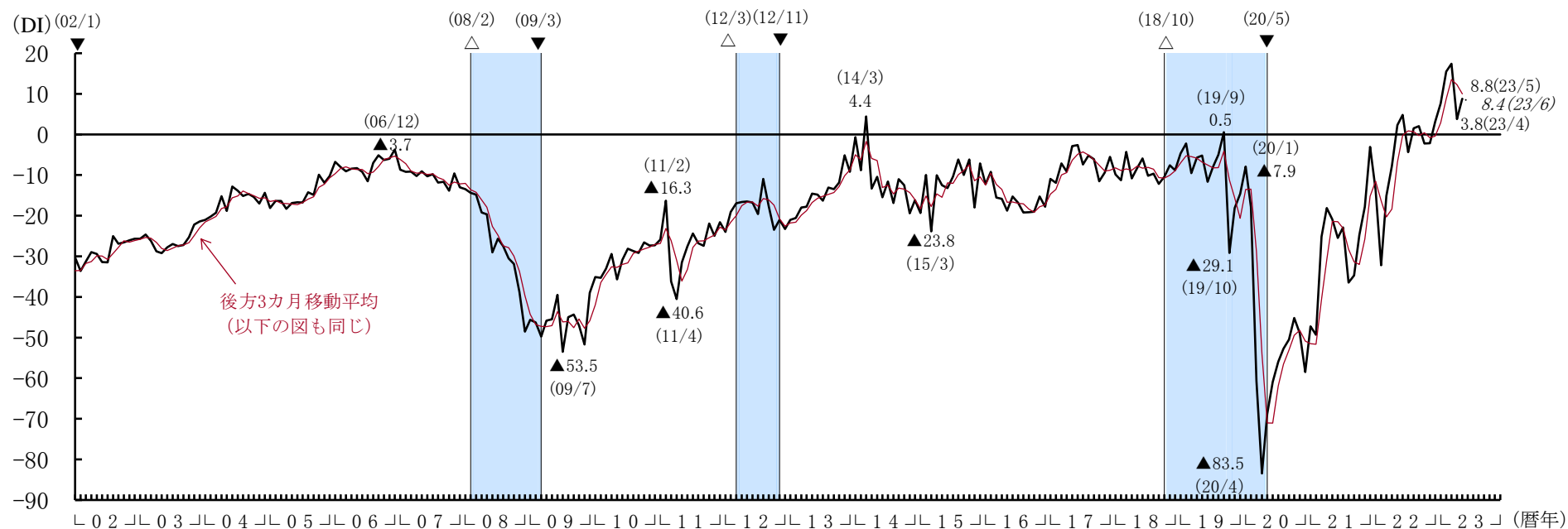
※総務省「経済センサス」における業種および地域構成に合うように、
データにウエイトづけを行っている。

1 売上

- 5月の売上DIは、4月(3.8)から5.0ポイント上昇し、8.8となった。6月は8.4と、5月に比べ0.4ポイント低下する見通しとなっている。
- 業種別にみると、製造業(▲8.4→▲5.8)、非製造業(4.9→10.6)ともに上昇した。6月は、製造業では▲9.9とマイナス幅が拡大する一方、非製造業では10.8と上昇する見通しとなっている。
- 非製造業では、飲食店とサービス業、建設業で上昇した。6月は、飲食店を除くすべての業種で上昇する見通しとなっている。

図-1 売上DIの推移（全業種計、季節調整値）

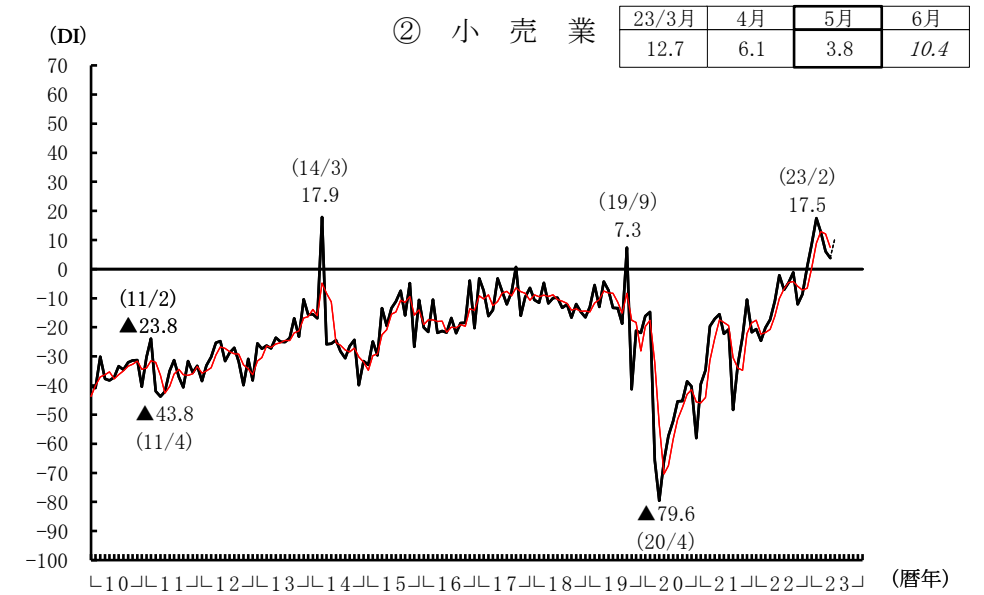
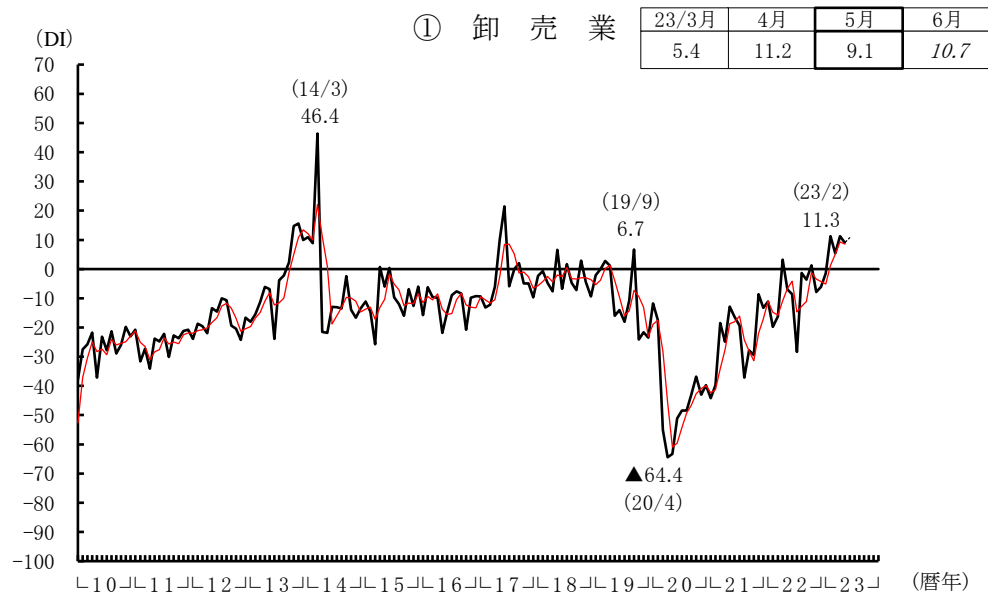
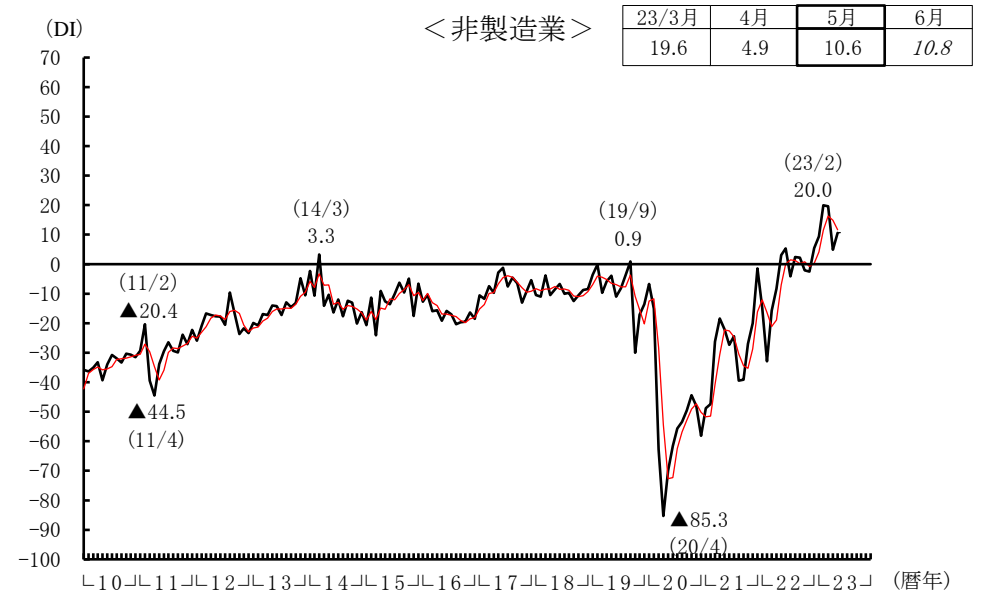
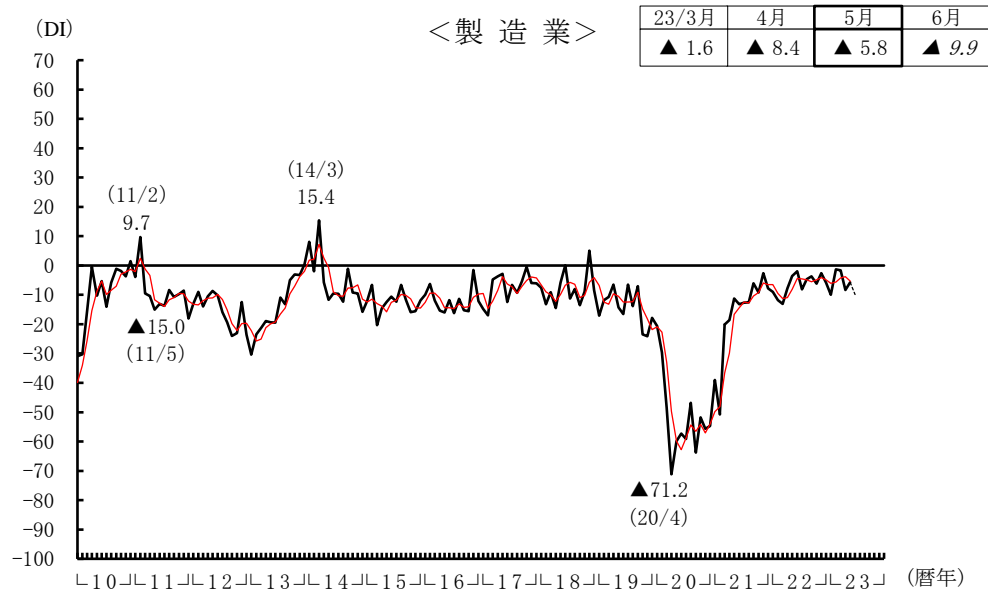
	2022/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023/1月	2月	3月	4月	5月	6月
実績	2.3	4.8	▲4.4	1.5	2.1	▲2.2	▲2.2	3.2	7.7	15.5	17.4	3.8	8.8	-
見通し	▲1.8	3.5	0.5	▲8.4	▲1.8	▲5.8	▲4.9	▲4.4	1.5	8.5	14.2	10.4	12.6	8.4



(注) 1 売上DIは前年同月比で「増加」企業割合－「減少」企業割合。

2 ———は実績、-----は見通し。斜体は見通しの値を示す。△は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(図-3も同じ)。

図－2 業種別売上DIの推移（季節調整値）



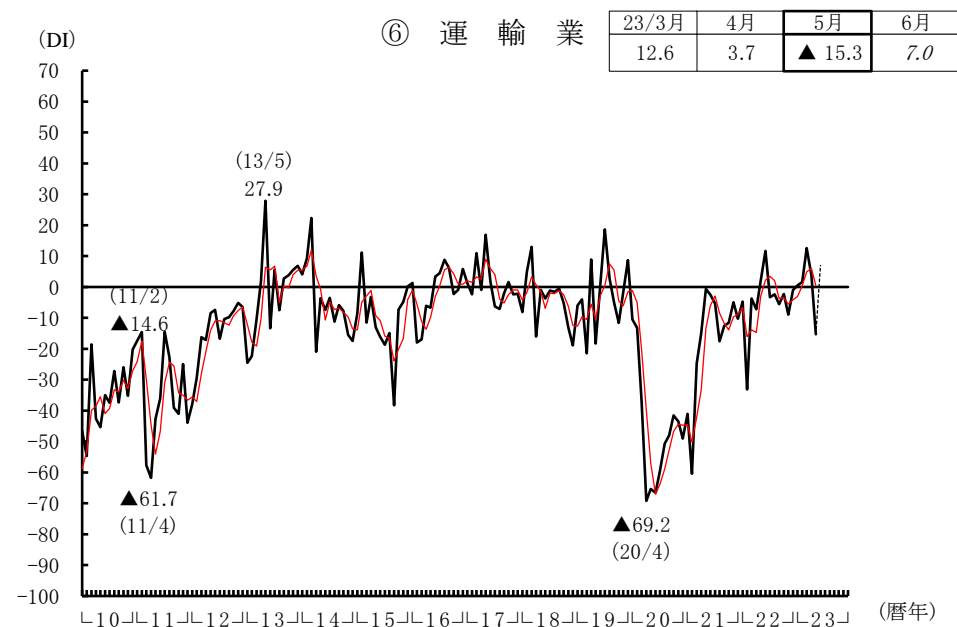
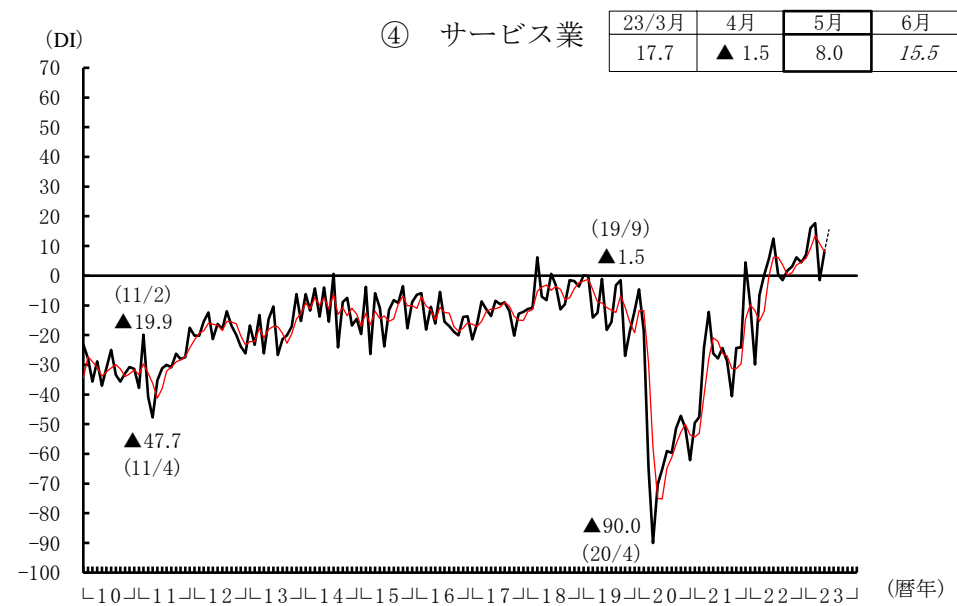
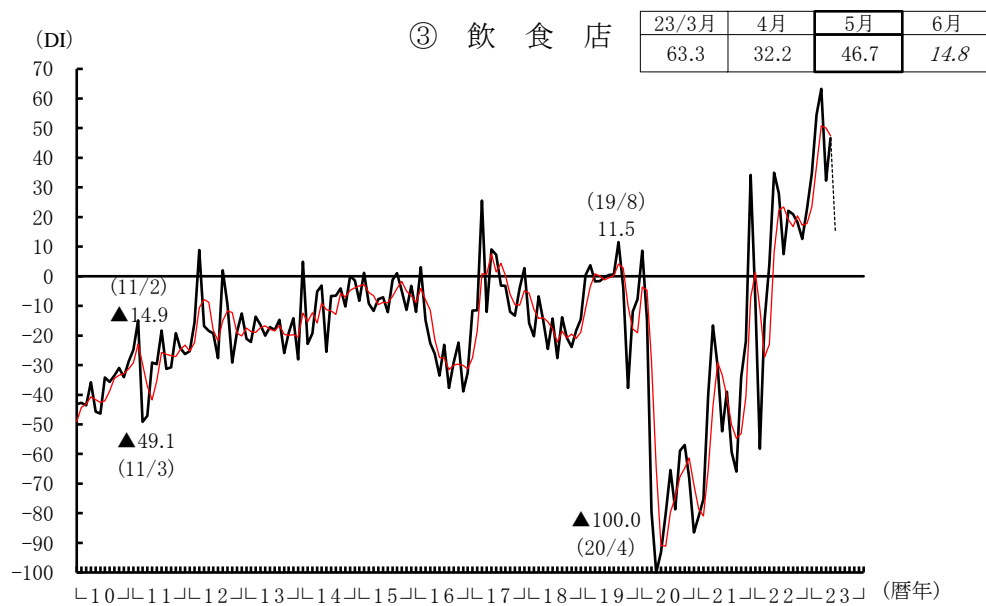


表 業種別売上DIの推移（季節調整値）

（見通し）

	2021年 12月	2022年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
製造業	▲7.8	▲9.0	▲11.8	▲13.1	▲7.8	▲3.6	▲1.9	▲8.1	▲4.6	▲3.7	▲6.2	▲2.6	▲5.8	▲9.9	▲1.3	▲1.6	▲8.4	▲5.8	▲9.9	製造業
金属・機械	8.7	▲2.0	1.5	▲9.8	▲1.3	▲2.9	4.3	▲4.5	▲6.8	▲7.0	▲11.3	▲5.5	▲16.1	▲9.8	▲12.5	▲9.2	▲5.3	▲14.1	▲30.4	金属・機械
その他製造	▲21.1	▲19.8	▲16.6	▲15.6	▲12.4	▲5.1	▲8.1	▲11.1	▲5.0	▲0.9	▲2.3	▲0.3	4.2	▲14.7	16.0	5.5	▲9.9	0.5	7.1	その他製造
非製造業	▲1.5	▲14.8	▲32.9	▲15.7	▲8.3	3.0	5.4	▲4.2	2.4	2.2	▲2.0	▲2.5	5.4	9.4	20.0	19.6	4.9	10.6	10.8	非製造業
①卸売業	▲13.3	▲11.1	▲19.8	▲16.2	3.2	▲7.0	▲8.6	▲28.4	▲1.4	▲3.6	1.2	▲7.9	▲6.1	▲1.4	11.3	5.4	11.2	9.1	10.7	①卸売業
繊維・衣・食	▲11.8	▲18.7	▲21.2	▲13.4	▲8.7	▲9.3	▲3.0	▲22.3	3.6	1.1	7.0	4.7	▲1.9	8.4	15.3	10.7	▲2.8	7.0	7.4	繊維・衣・食
機械・建材	▲12.2	▲7.9	▲20.4	▲16.5	8.0	▲7.9	▲10.8	▲32.7	▲1.2	▲7.9	▲2.0	▲14.8	▲6.8	▲10.5	6.9	2.5	17.6	7.8	13.2	機械・建材
②小売業	▲21.7	▲20.6	▲24.7	▲20.2	▲17.3	▲10.9	▲2.1	▲7.1	▲4.7	▲1.1	▲12.1	▲8.6	0.8	8.5	17.5	12.7	6.1	3.8	10.4	②小売業
耐久消費財	▲27.9	▲36.9	▲39.2	▲45.7	▲33.1	▲30.5	▲18.4	▲19.7	▲26.3	▲21.4	▲23.0	▲32.3	▲27.0	▲35.9	▲21.9	▲23.4	▲22.2	▲7.3	▲8.4	耐久消費財
非耐久消費財	▲19.3	▲19.6	▲22.2	▲15.3	▲13.7	▲6.0	1.7	▲4.8	0.7	3.4	▲9.4	▲5.5	7.7	15.7	25.1	19.7	12.2	7.1	14.3	非耐久消費財
③飲食店	34.2	▲8.6	▲58.2	▲14.8	3.9	34.9	28.0	7.4	22.1	20.9	18.2	12.5	22.9	34.6	54.5	63.3	32.2	46.7	14.8	③飲食店
④サービス業	4.4	▲9.8	▲29.9	▲6.5	0.3	5.7	12.4	0.4	▲1.5	1.7	3.1	6.2	4.4	7.1	16.0	17.7	▲1.5	8.0	15.5	④サービス業
事業所向け	▲3.7	▲21.7	▲12.0	▲2.2	3.1	3.9	▲1.8	7.4	2.8	▲1.7	2.4	▲6.7	▲8.5	▲5.5	▲5.4	▲5.4	▲4.5	6.9	5.7	事業所向け
個人向け	5.7	▲8.6	▲37.1	▲9.5	2.5	6.7	17.1	▲1.7	▲2.6	4.5	4.5	10.2	6.9	8.4	21.0	23.1	2.7	8.9	18.5	個人向け
⑤建設業	▲26.4	▲28.2	▲26.7	▲23.1	▲13.4	▲3.5	▲19.7	▲15.0	▲18.1	▲14.0	▲17.3	▲17.2	▲14.9	▲15.7	▲6.9	▲11.8	▲9.1	▲6.8	▲5.2	⑤建設業
⑥運輸業	▲10.3	▲4.7	▲33.1	▲3.7	▲7.2	2.0	11.7	▲3.4	▲2.4	▲5.6	▲2.3	▲9.0	▲1.0	0.5	1.6	12.6	3.7	▲15.3	7.0	⑥運輸業
道路貨物	▲17.0	▲4.8	▲23.1	▲10.9	▲13.0	▲10.0	4.2	▲16.1	▲16.0	▲21.0	▲15.2	▲22.9	▲11.0	▲13.1	▲3.4	1.2	4.5	▲32.2	▲2.3	道路貨物
個人タクシー	35.7	▲2.6	▲39.9	21.4	35.5	49.6	50.7	43.1	54.6	51.4	53.6	51.2	60.1	66.2	70.8	62.1	14.0	57.9	63.9	個人タクシー
全業種計	▲3.1	▲13.6	▲32.2	▲15.1	▲7.8	2.3	4.8	▲4.4	1.5	2.1	▲2.2	▲2.2	3.2	7.7	15.5	17.4	3.8	8.8	8.4	全業種計

（注）1 網かけは、前月から低下した数値。

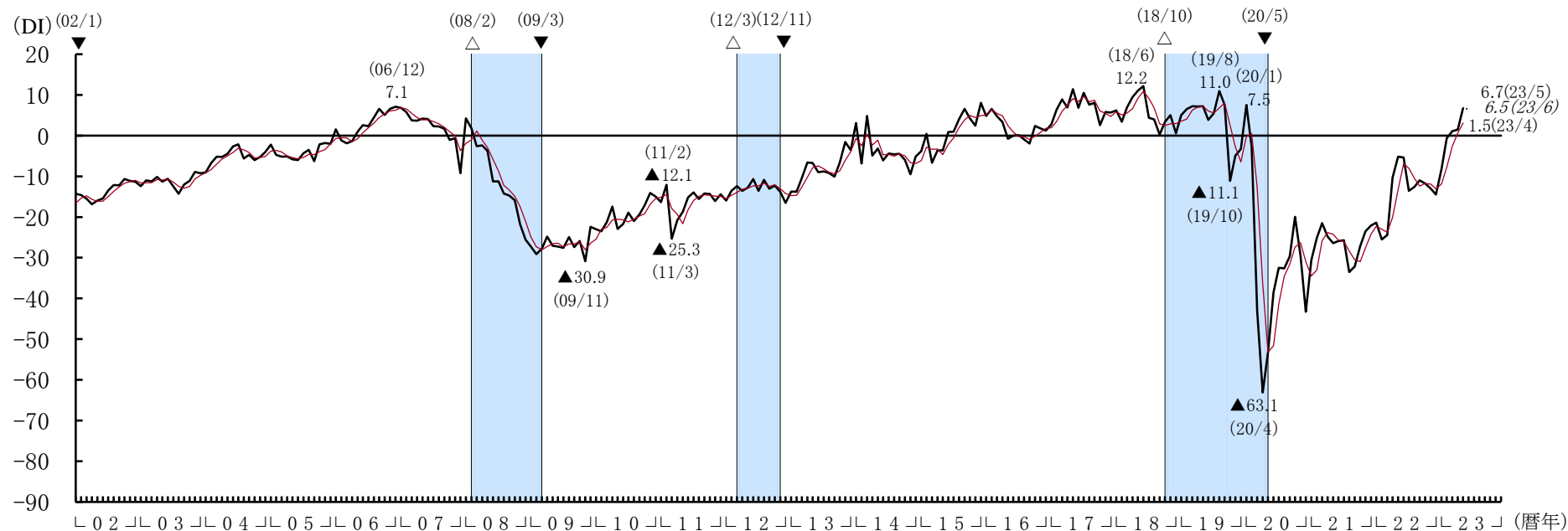
2 季節調整は業種ごとに行っている。

2 採算

- 5月の採算DIは、4月から5.2ポイント上昇し、6.7となった。
- 6月の採算DIは、6.5と低下する見通しとなっている。

図－3 採算DIの推移（全業種計、季節調整値）

	2022/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023/1月	2月	3月	4月	5月	6月
実績	▲ 5.2	▲ 5.3	▲ 13.6	▲ 12.6	▲ 11.0	▲ 11.8	▲ 13.0	▲ 14.5	▲ 8.3	▲ 0.7	1.1	1.5	6.7	-
見通し	▲ 6.1	▲ 2.3	▲ 8.5	▲ 17.2	▲ 11.8	▲ 13.7	▲ 13.7	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 3.8	0.7	3.6	10.6	6.5

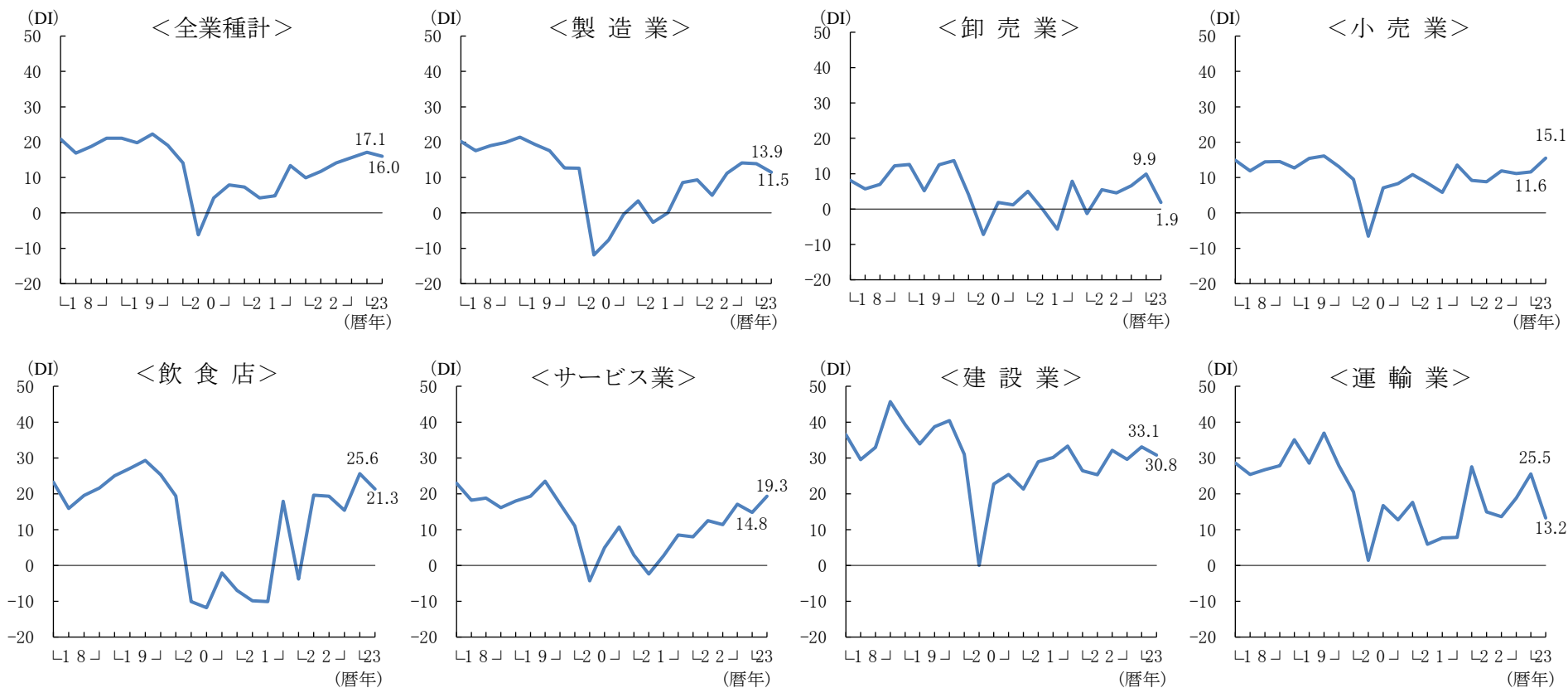


(注) 採算DIは「黒字」企業割合－「赤字」企業割合。

3 雇 用

- 2023年6月の従業員過不足DIは、16.0となった。
- 業種別にみると、建設業が30.8と最も高く、次いで飲食店(21.3)、サービス業(19.3)の順となっている。

図ー4 従業員過不足DIの推移



- (注) 1 このところ(3カ月程度)の仕事量からみた従業員数の過不足を尋ねたもの。
 2 従業員過不足DIは「不足」企業割合－「過剰」企業割合。
 3 調査期は、各年の3、6、9、12月。